

租税教育実践レポート

わたしたちの生活と税金の関わり

登米市立米岡小学校教諭 6学年 及川 まゆみ

実施年月日：令和4年6月10日 24名

1 実践計画・指導のねらい

多くの児童は、税金という言葉は知っているが、その働きや使われ方を理解している児童は少ない。また、税金と自分たちの生活に関わりを持っていることを意識している児童も多くはない。そこで、本実践では、社会科の学習やゲストティーチャーを招いての「租税教室」を通して、税金の働きや使われ方について理解させ、自分たちの生活との関わりについても気付かせていきたい。

2 単元構成・実際の指導状況（単元を通した全体の主な学習計画及び教師の指導）

時間	学習内容	主な発問（○）、こどもたちの反応（●）、使用教材等（□）
1	・ 税金について知っていることを話し合う。 ・ 税金の働きについて教科書や資料集を活用して調べる。	○ 税金についてどんなことを知っていますか。 ● 消費税。 ● よく知らない。 □ 使用教材 教科書（新しい社会6 政治・国際編 東京書籍）
2	・ 税金の働きについて、調べたことをまとめる。	○ 税金について、調べたことを発表しましょう。 ● 公共サービスや公共施設の多くの費用は、税金によって賄われている。 □ 使用教材 教科書（新しい社会6 政治・国際編 東京書籍）
3	・ 子育て支援センター「あすばる」を建設、運営するための費用は税金であることを知る。	○ 子育て支援センター「あすばる」を建設、運営する費用は、どこから出ているか調べましょう。 ● 税金。 ● 建設費用に1億4,000万円も掛かっているなんて驚いた。 ● 登米市でも、同じような施設は税金から賄われているのかな。 □ 使用教材 教科書（新しい社会6 政治・国際編 東京書籍）
4	「租税教室」 ・ 税金の種類や使われ方、税金の必要性について知る。 （登米法人会からゲストティーチャーを招いて実施した）	○ 税金が使われている施設とそうではない施設はどれですか。 ● 公民館、学校、警察署。 ○ 税金がないと、どうなるのでしょうか。 ● 安心して生活することができなくなる。 ● 橋の修理にも税金が使われていたのは知らなかった。 ● 救急車を呼ぶのにもお金が掛かるなんて信じられない。 □ 使用教材 DVD「マリンとヤマトの不思議な日曜日」 
5	・ 税金について学んだことを生かし、「税に関する標語」「税に関する絵はがき」を作成する。	○ 税金の大切さや働きを伝えるために標語や絵を考えましょう。 ● 「税金は 生活を守る 第一歩」 □ 使用教材名 まんが「おじいさんの赤いつば」

【指導のポイント】＜1時間目＞

多くの児童は、消費税以外の税金の種類を知らない。そのため、他にも税金の種類があることを伝え、学習意欲を高めた。

【指導のポイント】＜2時間目＞

税金の使われ方を調べる際は、「法人税」「所得税」「インフラ」等、児童にとって理解が難しい語句が出てくる。分かりやすく説明したり、具体的に例示したりする必要がある。

【指導のポイント】＜3時間目＞

登米市の子育て支援センターを提示したり、実際に通っていた児童に話をさせたりすることで、施設やその必要性について具体的にイメージさせた。

【指導のポイント】＜4時間目＞

ゲストティーチャーの講話やDVDの視聴、税金に関するクイズ等を通して、税金の働きや大切さについて理解させた。

【指導のポイント】＜5時間目＞

授業や租税教室で学んだことを振り返らせ、「税金がないと、どんな生活になるか」という視点で考えさせた。

3 実践の成果（◎）と課題（◆）（租税教育を実施後、教諭自身の感想や児童・生徒の反応、他の教諭に対して、今後参考としてほしい事項など）

- ◎ 租税教室では、税金の働きを分かりやすく教えていただき、多くの児童が税金の働きやその大切さについて理解することができた。また、実際に登米市で税金で賄われている施設を紹介していただいたことで、自分たちの生活と税金との関わりに気づき、理解を深めることができた。
- ◎ 税に関する標語や絵はがきコンクールへの作品応募を通して、社会の学習や租税教室で学んだことを振り返り、税金の大切さを再認識させることができた。
- ◆ 税金について、児童に実感を持った理解をさせることは難しい。税金で賄われている公共サービスの例を更に提示し、調べ学習に十分な時間を確保することで、自分たちの生活と税金を結び付けた理解をより深めさせることができたのではないかと考える。